

# 笑いは 明日の トランスジェンダー ですから

東京・「同巢会ジョーク・サロン」

## ビジネスマンのオアシスに

「同巢会どうそうかいジョークサロン」は四年前、一九八九年の七月に東京でできた。

「せめて九〇年代は、休きゅう・自由年代じゆうとしたい。昨今のように、モノや数字を追いかければかりでは、苦汁くじゅう年代ともなりかねない」——ジョークの名人といわれたライオン商事の元社長、山下広蔵さんが「都会に働くビジネスマンやOLのオアシスをつくらう」と呼びかけてできた会で、当初、同巢会には他にゲームやウクレレの教室等もあった。

山下さんはその年の暮れに亡くなり、他のグループも消滅してしまっただが、ジョークサロ

ンは月一度の例会をつづけ（参加者は十四、五人）、持ち寄られた作品をまとめた会報「伝笑鳩」はこの三月で四十一号、全国百数十名の読者に毎月送られている。

「初めはアフターファイブをユーモアのある会話でござそう、こんなおもしろい話を仕入れてきたよ、という感じで集まってたんですが、だんだんみんな川柳やショートシヨート、かえ唄等をつくるようになり、今では各自得意の分野ができてます」

「作品を持ってこなくて、笑いに来るだけの人も歓迎します」

「笑って、明日のエネルギーになりますからね」

## ことわざ笑辞典

「伝笑鳩」変集鳥の野本浩一のほんこういちさん（41）は、M重工でエアコンの営業マン。ジョークサロンに入る前、十年以上、個人的にダジャレ通信を友人、知人に出し続けてきた。

野本さんが名古屋で勤務していた時の話。ある係長から野本さんに電話がかかってきて、後輩の男性社員がとりついで。係長が少ししかかって「味の素はいるか?」「味の素さん、電話です」。そのとき野本さん受話器をとって咄はなに「ハイ、ミーです」。

「以来、後輩から、野本さんの洒落は天才的と言われるようになりました（笑い）」

保険会社から今、損害保険の研究所に出向し、高齢化社会の研究をしている曾田英夫さん(44)は、「関西の出身で、もともとこういうの、好きでしたね」。

曾田さんが今とりこんでいるのは、ことわざをサラリーマンの眼でつくり変えた「サラリーマンことわざ笑辞典」づくり。

たとえば

・言うは易し行なうは難し ↓ 言うは難し行なうはもつと難し

・今ないたカラスがもう笑う ↓ 今決まったことがもう変わる

・人の短をいうなかれ、己の長を説くなかれ  
↓ 人の短をいふらせ、己の長を説きまわれ(▽これがサラリーマンの生きる道)

・貧すれば鈍する ↓ 貧すれば残業する

・下手の横好き ↓ 下手のワープロ好き

・へビの生殺し ↓ マドギワのヒヤメシ

・坊主憎ければ袈裟まで憎い ↓ 課長憎ければシャツまで憎い

・みかけばかりの空大名 ↓ みかけばかりの空出張

・無理が通れば道理が引つ込む ↓ 不況が通れば経費が引つ込む

でもうすぐ。

「ぼくは一番いやな会議は金曜日にあるんですよ。でも、会議中にバンバン言われても心の中で、今日はジョークサロンがある日だ。」

いくらでも言ってくれ(笑い)。終わると「お先に!」と早く帰っちゃう(笑い)。自分を表現できる場、自分が理解してもらえ場所があるってのは幸せですね」

## 亭主の座の復権(?)も

奥村篤史さん(51)は長年、時計のマーケティングをしてきたが、ここ一、二年は同会社が経営する銀座のレストランの総支配人。

「今まで社内社内でやってきて、もう一つ別の見方をしてみたい、と思いついてね。ジョークをつくってまず最初に見せるのは女房と息子なんです。その反応で出来・不出来がわかるんですが、そんなことを通し、今まで無視されてた亭主の座ができてきた(笑い)。時には新聞に(投稿作品が)載って、認識を新たにしてもらえてるってわけです(笑い)」

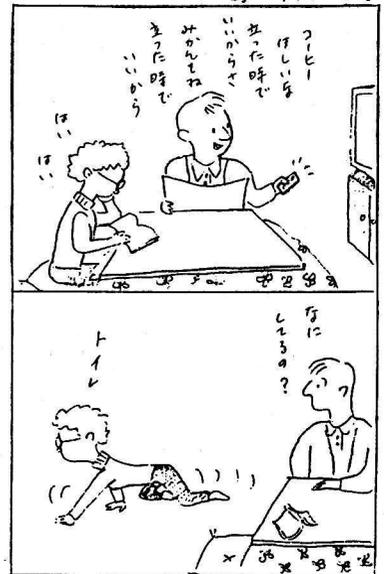
### 通勤川柳

通勤時座れぬ分は社で休み  
覗き見の方が堂々読んでいる

■タワゴトロジー 一九九二年、汚職も多く、オーションックでした。

- ・名外科医・癒着上手ですー医療機器業界
- ・心臓ペースメーカー汚職…不整脈を見つけましたー東京地検
- ・カラ出張ー尼崎市議、カラ出頭ー金丸氏、カラオケー庶民
- ・伸びないボーナス、のびてる社員

by 平田レイ子



93 NHK「くらしのジャーナル・新春トーク」に登場したサロン同人の作品から

1月6日(水)「それでも課長になりたいか」

脱サラの夢は捨てぬが勇氣なし 野本浩一  
役職についたとたんに丸くなり 高木正明  
先兵も時短の旗手になり切れず 奥村篤史  
「会社」人間「社会」人間百八十度 係長残業所得で部内一  
長たらしい肩書ほどの責任なし 門口泰宣  
狙ったポスト空いたら部統合 //

ジョーク

石井志津夫

■バチンコ店

夫「毎日、出血サービスでよくつぶれないな」  
妻「あなたみたいな人が輸血に通うからよ」  
■志向

・当たらないはずですージャンボ多空くじ

## ナシ食うたびに願うこと

「伝笑鳩」を二年分、見せてもらった。読者の便り、CMパロディ、ショート・笑と、コミックどどいつ、ジョーク・アラカルト、ニコマンガ等々、硬軟とりまぜ多彩なジョークが六〜八頁に満載されている。

一九九二年十二月号には、物故して二年の

## 替え歌笑歌

門口泰宣

君の住む家は 果てしなく遠い

だのに何故 歯を食いしばり

君は住むのか ローンを払ってまで

(若者たち)

知りすぎたのね あまりに私を

減りすぎたのね 私の支持率

(知りすぎたのね)

白ぼくれ 上の空 向かい風

疑惑咲く あの北国の アー国会の人

(北国の春)

山下広蔵さんの歌が夫人から届けられ、二十九篇掲載されていた。

その中から――

・四十年を駄じゃれセールスよくやりしよく

ぞ笑ひてゆるされしものよ

・金輪際笑わぬという人根負けし笑ってくれ

し時のうれしさ

・どじ踏んで部長に叱られしその時は動物園

に来て猿に餌やる

・同僚の我より先に昇進す祝いの寿司のわさ



子ども「ママ、川へ泳ぎに行ってくるよ」  
ママ「絶対、中流以上であよぐのよ」

## コミックどどいつ

高木正明

・飛脚走れば風が起り黒い便りの届く先

・裏のマフィアと表の政治 仲を取り持つ飛脚便

・反省だけなら猿でもやるが それもやらず

に去る狸

・カクはカクでも日本のカクは恥をかく閣

居て不覚

・生活大国民叫んでみても政治怠国だから無理

・鐘や太鼓で時短や休暇 その気で取ったら

首になり

びききをり

・平成のねむりをさますリクルート胸むかむ

かと夜もねられず

・原爆もなくなり笑って迎えたし二〇〇一年

一月一日

・二十世紀のナシ食うたびにねがうこと二十

一世紀に戦争ナシと

ジョークサロンのメンバー

(左端・奥村さん、前列中央・山下さんの遺影を手に野本さん、後列右端・曾田さん)